

〔 特 集 〕

教えて，サッコ先生！ 包括的性教育ってなに？



近年「性教育って大事だね」と言われるようになってきました。学校医として、主治医として、性教育を学ばないといけないかな、という先生もいらっしゃるのではないのでしょうか。私は性教育をしたくて産婦人科医になりました。大学6年生の当時、私の頭の中にあった性教育は、今でいうプレコンセプションケアでした。包括的性教育のうちのほんの一部分にすぎず、学べば学ぶほど、性教育は幅広くて奥深いものだと思います。性教育は一人で完遂することはできません。地域で・家庭で・学校での連携と役割分担が必要です。

性教育という言葉だけでもとっつきにくいのに、包括的性教育って何だろう？ どこから取り組めばいいんだろう、という皆さまに、まずはここから！ という執筆陣にお願いすることができました。特集項目6～9は「生命（いのち）の安全教育」として取り組む際にもたいへん参考になると思います。

「ジェンダー不平等な社会のしくみは、作られたものであるからこそ、作り直すことができる」。そう信じて、これから子どもたちには自分らしく生きることができる社会を手渡してあげたいものです。一人ひとりが自分を大切に感じることができ、差別がなくなり、選択肢を知り、自分でつかみとることができる。そんな力を育む、包括的性教育。あなたはどの立場から、何を伝えることができそうですか。

(埼玉医科大学医学部医療人育成支援センター／高橋幸子)

